

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名 一般国道302号 名古屋環状2号線	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局
起終点 自：愛知県名古屋市中川区富田町 至：愛知県名古屋市中川区富田町	延長 58.6 km	
事業概要 一般国道302号名古屋環状2号線は、愛知県名古屋市中川区富田町から愛知県名古屋市中川区富田町に至る延長58.6km（海上部除く）の道路です。 名古屋環状2号線沿線では、環状道路及びその内側地域での渋滞、沿道地域の新たな市街地形成など多くの課題があり、本事業の整備により、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、新たな市街地形成の支援の効果を見込んでいます。		
S46年度事業化		S57年度都市計画決定
S46年度用地着手		S48年度工事着手
全体事業費	約5,586億円	事業進捗率
計画交通量		31,900台/日
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 395/12,418億円 (事業費: 345/11,944億円) (維持管理費: 50/474億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 690/30,037億円 (走行時間短縮便益: 617/26,006億円) (走行経費減少便益: 71/3,526億円) (交通事故減少便益: 2/505億円)
基準年: 平成26年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=2.1~3.4(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=1.6~2.2(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=2.2~2.7(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=1.6~1.9(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=2.4~2.4(事業期間 ±20%) 事業期間 : B/C=1.6~1.9(事業期間 ±20%)		
事業の効果等		
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道（甚目寺6号、新清洲7号、喜多山2号）の除却が見込まれる。 ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。		
②物流効率化の支援 ・国際拠点港湾（名古屋港）へのアクセス向上が見込まれる。		
③都市の再生 ・都市再生プロジェクト（第2次決定、平成13年8月28日 大都市圏における環状道路体系の整備）を支援する。 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路（広域道路）を形成する。 ・区画整理（茶屋新田土地区画整理事業、松河戸地区土地区画整理事業）と連携する。		
④個性ある地域の形成 ・主要な観光地（農業文化園・戸田川緑地）へのアクセス向上が期待される。		
⑤災害への備え ・愛知県地域防災計画における、第一次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路（名古屋第二環状自動車道）が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。		
⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。		
⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。		
⑧他のプロジェクトとの関係 ・関連する大規模道路事業（近畿自動車道伊勢線名古屋環状2号線（名古屋西～飛島））と一体的に整備する必要がある。		
関係する地方公共団体等の意見 名古屋市より4車線化の早期整備の要望を受けている。		

県知事・市長の意見

愛知県知事：

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議はありません。
- 2 名古屋環状2号線は、名古屋都市圏の道路網の骨格をなす環状道路として、本都市圏の今後の発展の為に欠かすことのできない重要な社会基盤であることから、1日も早い開通を期待する。
- 3 なお、事業実施にあたっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

名古屋市長：

- 1 「対応方針（原案）」案に対して異議は、ありません。
- 2 当該道路は、名古屋圏の環状道路を形成し、名古屋都心部に集中する交通を適切に分散導入する重要な道路であるため、一日でも早い4車化をお願いしたい。

事業評価監視委員会の意見

・「事業継続」することは「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・平成22年度までに全線開通（2/4）されたものの、鉄道との交差点において渋滞が発生しており、環状道路内及び国道302号沿線において未だ交通が混雑

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・昭和46年度に事業化、用地取得率100%、事業進捗率92%（平成26年3月末時点）
- ・平成22年度まで：名古屋市中川区富田町～名古屋市中川区富田町
延長58.6km（2/4）全線開通
- ・春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山（延長5.0km）は、名鉄瀬戸線の立体化に向けた仮線工事を推進。
- ・あま市甚目寺～清須市一場（延長5.2km）は、名鉄本線、名鉄津島線の立体化に向けた関係機関協議を推進。
- ・海部郡飛鳥村梅之郷～名古屋市港区春田野（延長4.2km）は、改良工、橋梁上・下部工等の工事を推進。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・春日井市勝川町～名古屋市守山区喜多山（延長5.0km）は、ボトルネックとなる1箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていく。
- ・あま市甚目寺～清須市一場（延長5.2km）は、ボトルネックとなる2箇所の踏切の立体化を進めるとともに4車線化整備を進めていく。
- ・海部郡飛鳥村梅之郷～名古屋市港区春田野（延長4.2km）は、専用部（近畿自動車道伊勢線）の整備と併せて4車線化整備を進めていく。

施設の構造や工法の変更等

・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

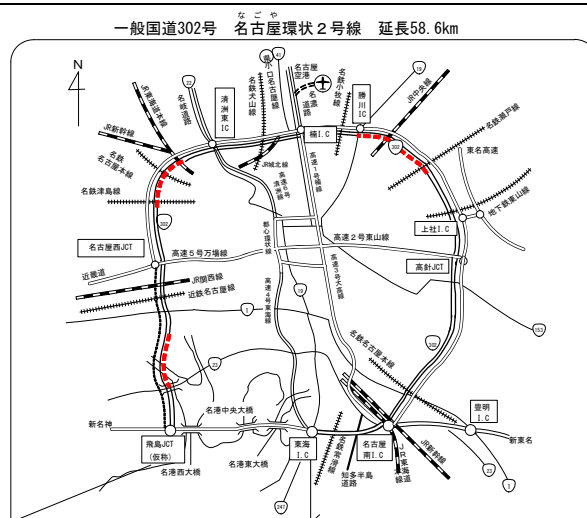
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。